

担任区分(毎)一五ニ管理部隊ヲ一ヨリ受領分配スルモノトス
食料受領者ニハ努メテ兵及男産備人ヲ以テ充
ツルモノトス

第十五條 壕内ニ於ケル入浴場ハ將官幕僚用ト一般
浴場トシ其ノ入浴區分附表第一ノ如シ

將官幕僚用浴場ハ一般將校以下ノ使用ヲ禁ス
壕内浴場ノ構造ニ鑑ミ努メテ水ノ節約ヲ圖ルヘシ

第十六條 便所ハ將官用幕僚用ト一般便所ニ区分ス
其ノ使用区分ヲ嚴守スルモノトス

第十七條 便所掃除受持担任区域ヲ左ノ通定ム
第一坑道入口 軍司令部情報 軍通信ノ交互トス

第二及第三坑道入口 軍官理部衛兵
第四坑道入口 山兵團司令部

第五坑道入口 將官用幕僚用 軍管理部

壕内便所ニ在リテハ更ニ指示ス

第十八條 壕内特ニ通路清掃ハ各部隊各部隊毎
ニ受持担任地域ヲ實施スルモノトシ寢室ヲ有スル

通路ハ寢室使用ノ各部隊(各部)ニ於テ實施ス
ルモノトス 特ニ煙草、破殼及紙屑等ニ銜詰

殼等ヲ散乱セシメス 受持担任区域内ハ常に清
潔ナラシムルモノトス

第十九條 通路附近ニハ一切通路ノ防害トナルベキ物品
ヲ掛ケ又ハ置クヘカラス 常に側ヲ開放スルト

ニ努ムベシ

第四章 敬告戒ニ關スル事項

第二十條 戦事司令ノ所洞窟各入口 敬告戒担任区
分ヲ左ノ通定ム

第一〇 第三及第五坑道入口
軍司令部新
第四坑道入口及同枝口
山兵團司令部

敬告我軍領及方法ニ関シテハ軍管理部長ノ統
制下ニ各部隊ノ衛兵長ニ於テ計画實施スルモノ
シ身ヲ以テ其ノ責ニ任スルモノトス

第五章 衛生ニ關ル事項

第一條 壕内生活持續ニ伴ヒ特ニ左記事項ニ注

- 一 意且ツ實施スヘシ
起床時及就寢前努メテ毛巾類ニ蚤取リ
ヲ實施スルコト
- 二 壕内ニ於テハ生活情況不規則トナリ易キ
ヲ以テ作戰上必要ナル以外ハ努メテ生活ヲ規
正シ睡眠攝食良節制ヲ保ツコト

三 日光不足ハ生活ヲ益々消極的ナラシメ此際外線
ノ不足ヲ伴ヒビタミン類ヲ一層必要トスルヲ以テ

給養ヲ適正シ脂肪生野菜ノ補給ニ努ムルコト

四 炊事ハ常ニ消毒液ヲ設置シ炊事勤務者ノ手
指消毒ヲ勵行スルコト

五 通射燈火ハ眼ヲ刺戟シ壕内ノ塵埃ト相俟ツテ
結膜炎其他眼病ヲ誘及スルヲ以テ成ル可ク

擴散光源ヲ利用スルニ努メ不要ノ場合ハ消燈
者ヲハ遮光ヲ十分ニ行フト共ニ洗眼ヲ實施スルコト

又電燈以外燈火ハ燃燧瓦斯ニ依リ空氣ヲ汚
染スルヲ以テ不要電燈ヲ放置セザルコト

六 不慮外傷ノ豫防ニ留意シ輕ナル創傷雖
モ早期ニ治療ヲ受クルコト 然ラザレバ化膿ヲ来シ

或ハ創傷傳染病ヲ誘及スル虞レアリ

壕内ハ勢ト過剰ニ休息シ候ニ氣ヲ引込テ呼吸
器殊ニ鼻咽喉ヲ易キヨリテ含嗽ヲ勵行スル
時日、經過ト共ニ風、發生モシキヲ以テ身
体衣服、保清シテ置ル

9 壕内、清潔整頓ニ努ムル
10 諸事節制ヲ旨トシ、保持増進ニ努ムル
11 壕内噴氣ハ障礙セザル様、特ニ出入口通路ヲ停止
セザル

12 節煙、努ムル
13 壕内ニ於テ大便、排泄或ハ盥、ニ放痰セザル
14 壕内ニ痰壺箱ヲ常置シ置キ
15 車医ハ各室内ニ於ケル温度並ニ瓦斯狀況ヲ檢知
シ、毎日午前午後、二回軍管理部長ニ報告ス
16 蠅叩キザ一人ニ付キ、一ツ宛備付蠅ヲ見付次第撲

壕内ル

17 壕内入口ヲ清潔ニシ、殘飯殘菜塵埃ヲ放置セザル
第三條 洞窟内ニ於ケル健兵対策ヲ左ノ通定ム
ノ點呼後五分間、乾布麻手擦ヲ實施ス
之夜間勤務者ニハ夜間喫食セシム、晝間ハ喫食セズ
晝間ハ專ラ睡眠義務セム

第六章 防謀ニ關スル事項

第三條 防謀上下士官兵軍屬(電話雇傭人ヲ含ム)ニ對ス
ル面會フ一切禁止ス、又軍屬(電話雇傭人ヲ含ム)ノ單獨
明瞭ノ通過ヲ禁止ス

第七章 瓦斯防護ニ關スル事項

第三條 軍戰司令部、瓦斯掛將校、各坑道員ハ

口附近ニ瓦斯兵ヲ常中置シ瓦斯ニ關スル敬言戒ニ
任スルモノトス

第三五條 瓦斯防護施設ニ關シテハ戰訓速報第五
號ニ基キ瓦斯計測枝之ヲ統一施設スルモノトス
第三六條 瓦斯敬言戒ハ通常瓦斯兵ヨリ發シ最モ之
速ナル方法ニ依リ大鼓一ツ以テ「ガースト」ト呼稱シ壕内全
般ニ傳達シ速ニ防毒面ヲ装着ス
之カ為防毒面ハ常ニ手邊ニ準備シ置クモノトス

第八章 其他

第三十七條 各出入口ノ偽裝ハ絶ヘズ補備増強シ各坑道
入口ノ遮蔽區ニ努ム、之カ為將校ヲ長トスル所要偽
裝班ヲ編成シ毎日敵彈ノ間隙ヲ利用シ補備増強
セシムルモノトス

其ノ担任区分左ノ如シ

- 第一―第三及第五坑道入口附近 軍司令部
- 第四坑道入口及同枝口附近 山兵團司令部

